

## 第18節 石垣島伊原間地区

### 第1項 取り組み概要

沖縄離島体験交流促進事業では団体客の受入れ強化に取り組んでいるので、本事業では個人客の受入れの強化を行った。目立った観光地がなく、観光地と観光地の通過地点になってしまっている伊原間地域で、「観光客にどうやって足をとめてもらうか」という事を考慮しながら取り組んだ。今年度は夕食交流会を一番の目玉に、地域との交流が深まるような実施を行った。

### 第2項 造成プログラム一覧

- 1 石垣島北部の造船職人が作るサバニでいく風よみ体験&地域交流会

### 第3項 実施ツアー一覧

<参加者合計：264名(1名)>

プログラム名	出発日	泊数	宿泊形態	定員	参加者数
石垣島北部の造船職人が作る サバニでいく風よみ体験&地域交流会	16/11/28(月)	2泊3日	民宿	30名	14名
	16/12/06(火)	2泊3日	民泊	30名	24名
	16/12/20(火)	2泊3日	民宿	30名	14名
	17/01/06(金)	2泊3日	民宿	30名	28名
	17/01/10(火)	2泊3日	民泊	30名	10名
	17/01/20(金)	2泊3日	民泊	30名	20(1)名
	17/01/24(火)	2泊3日	民宿	40名	24名
	17/02/06(月)	2泊3日	民泊	40名	26名
	17/02/15(水)	2泊3日	民宿	40名	8名
	17/02/18(土)	1泊2日	民宿	30名	12名
	17/02/20(月)	2泊3日	民泊	50名	37名
	17/02/24(金)	2泊3日	民宿	50名	39名
	17/02/27(月)	1泊2日	民宿	30名	8名

※表中の( )内は助成対象外の内数

## 第4項 ツアー概要

### 1. 石垣島北部の造船職人が作るサバニでいく風よみ体験&地域交流会

ツアー紹介文：

海人に古くから使われていた漁船”サバニ”で海に繰り出し、風をよみ、音を感じる事で自然の雄大さや恵みへの感謝を体感して頂きます。体験後は地元の方との交流会を行います。

行程表：

(2泊3日行程)

日	時間	行程
1 日 目	10:05	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	10:20	<b>【結団式】事業説明、諸連絡など</b>
	11:15	那覇空港より [JTA607 便] にて出発
	12:20	石垣空港到着 昼食
	13:30	石垣空港到着ロビーにてコーディネーターと合流、移動
	14:00	<b>【オリエンテーション】</b> 会場：伊原間公民館
	14:50	終了 フリータイム
	18:00	夕食  <b>(宿泊：島内民宿・民泊)</b>
2 日 目		朝食 モニタープログラム会場へ移動
	12:30	終了
	13:00	昼食
	14:00	フリータイム 交流会会場へ移動
	18:00	<b>【夕食交流会】</b>
	20:00	終了  <b>(宿泊：島内民宿・民泊)</b>
3 日 目		朝食 振り返りゆんたく会会場へ移動
	9:00	<b>【振り返りゆんたく会】</b> 会場：伊原間公民館 意見交換、アンケート記入
	10:00	終了
	10:30	石垣空港へ移動
	11:00	石垣空港に到着 昼食、フリータイム
	13:35	石垣空港より [JTA614 便] にて出発
	14:30	那覇空港到着、解散

(1泊2日行程)

日	時間	行程
1 日 目	8:30	集合、航空券を受け取り後、荷物預けを済ませる
	8:45	<b>【結団式】事業説明、諸連絡など</b>
	9:40	那覇空港より [ANA1763 便] にて出発
	10:40	石垣空港到着、コーディネーターと合流
	11:00	伊原間公民館へ移動
	11:30	<b>【オリエンテーション】</b> 会場：伊原間公民館
	12:20	終了
	12:30	昼食
		モニタープログラム会場へ移動
	13:00	<b>【モニタープログラム】</b> 石垣島北部の造船職人が作るサバニでいく風よみ体験&地域交流会
	16:00	終了
	18:00	<b>【夕食交流会】</b>
	20:00	終了
	(宿泊：島内民泊)	
2 日 目		朝食、フリータイム
	12:00	昼食
		振り返りゆんたく会会場へ移動
	13:30	<b>【振り返りゆんたく会】</b> 会場：伊原間公民館
		意見交換、アンケート記入
	14:30	終了
	15:00	石垣空港へ移動
	15:30	石垣空港に到着
16:30	石垣空港より [ANA1776 便] にて出発	
17:25	那覇空港到着、解散	

実施写真：



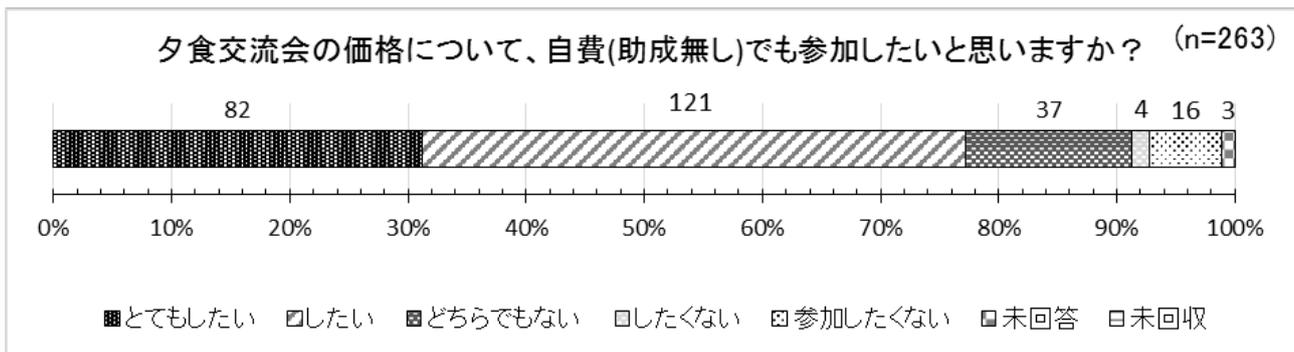
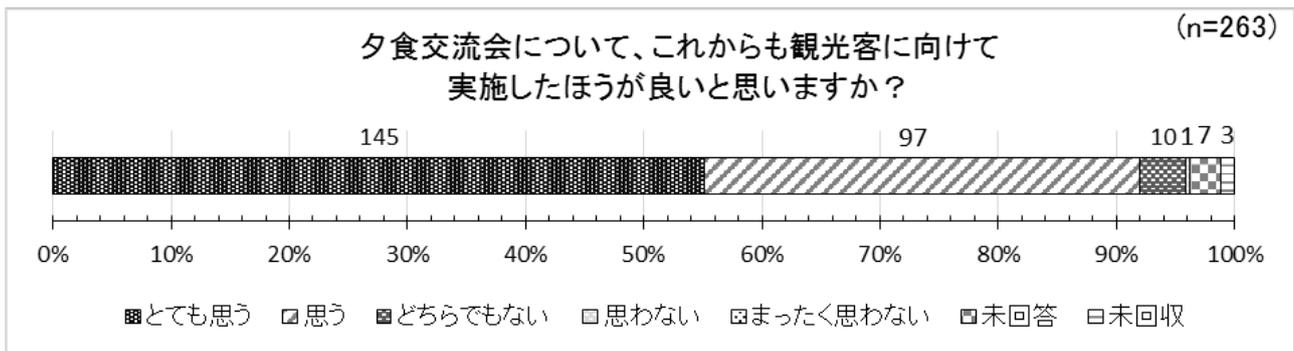
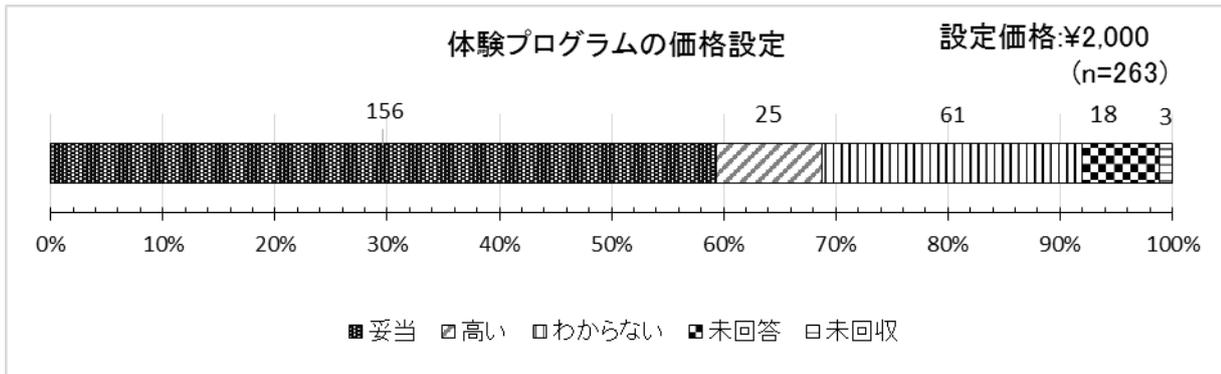
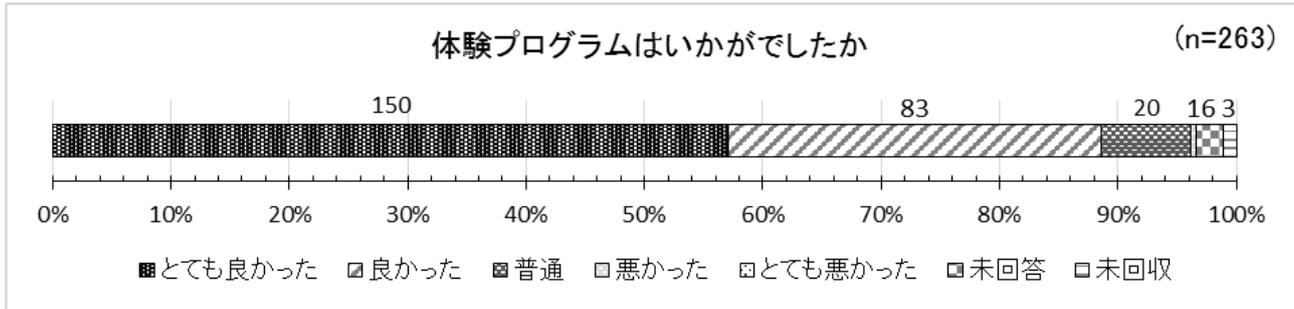
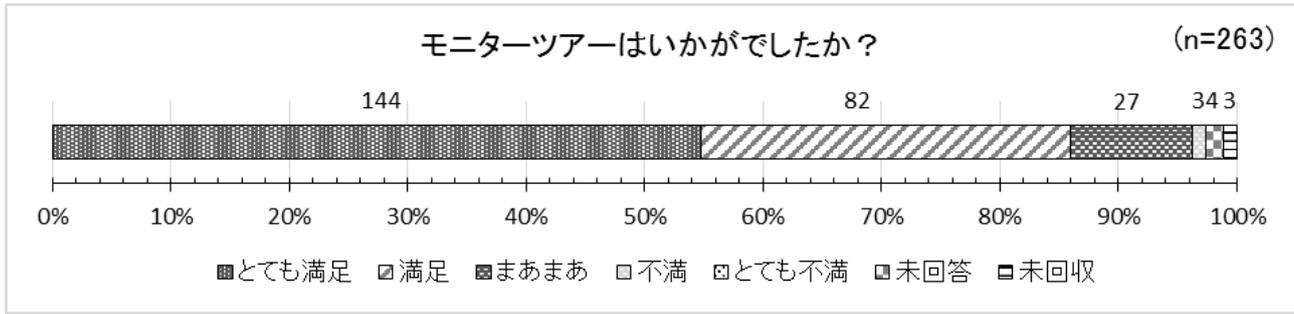
## ■ 成果

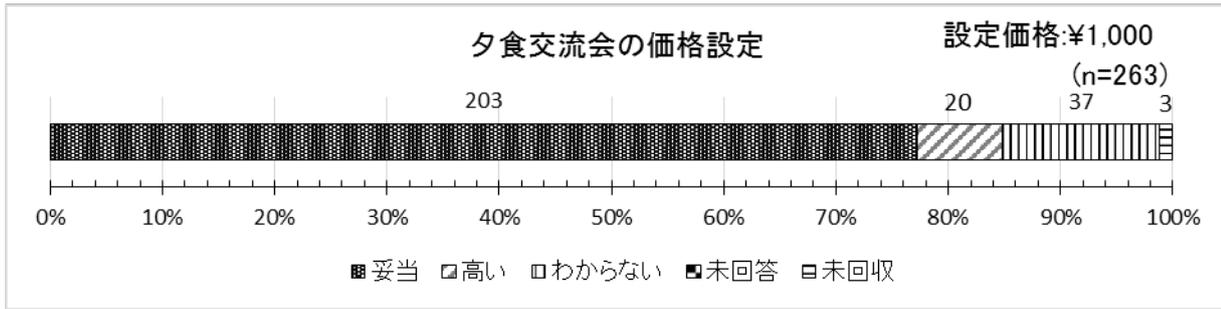
- ・ 修学旅行向けのプログラムを個人客用へと昇華する事が出来た。

## ■ 課題

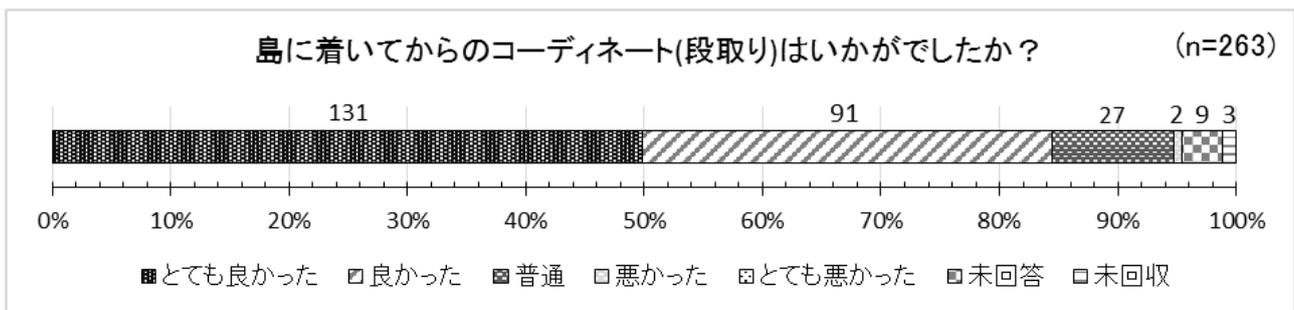
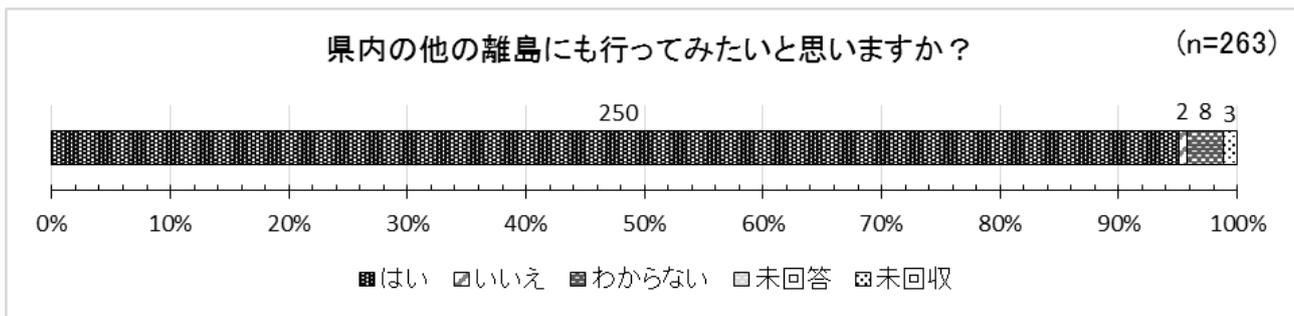
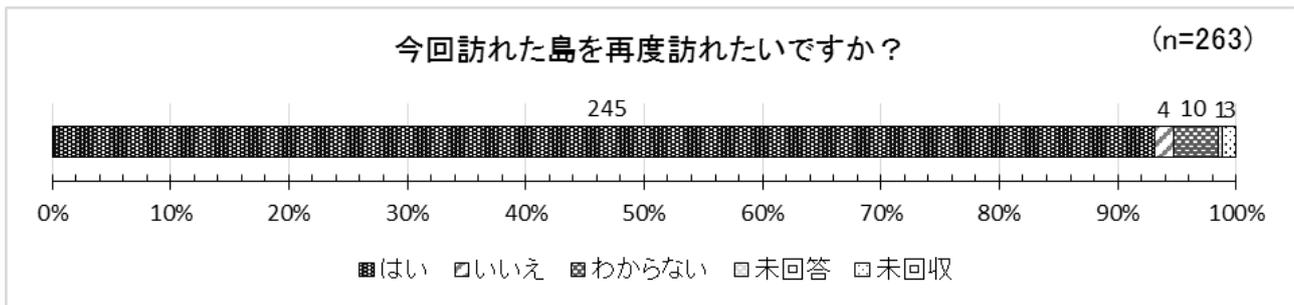
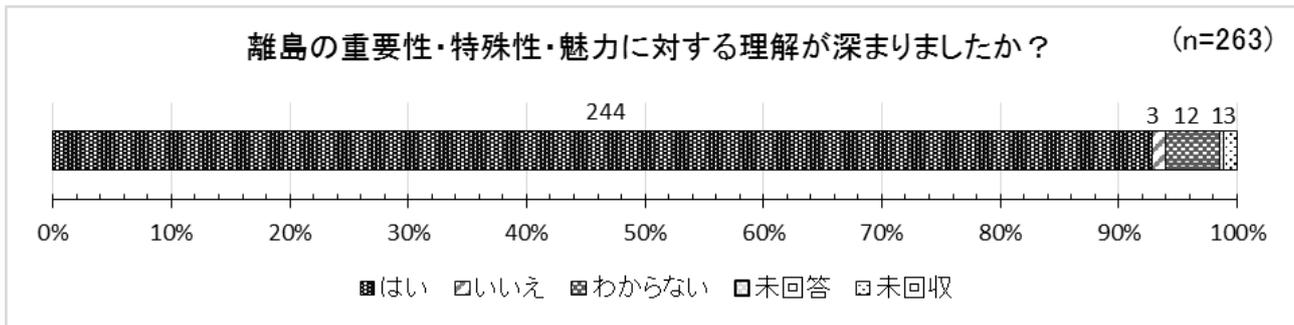
- ・ もっとサバニに乗りたかったという声が多かったので、プログラム実施時間の再考を検討しても良いと思われる。

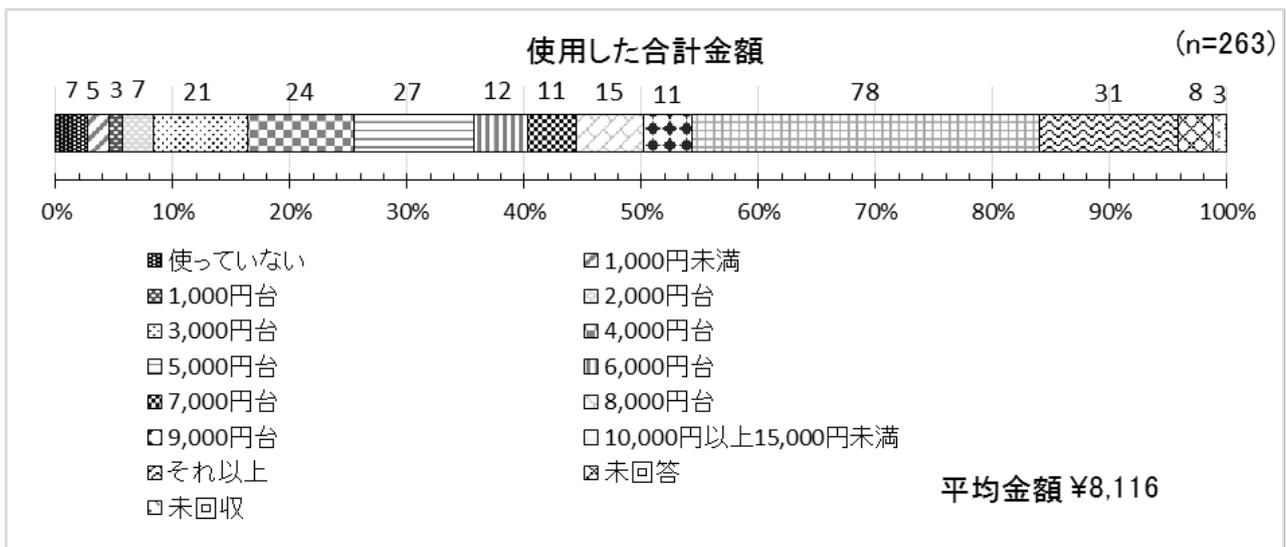
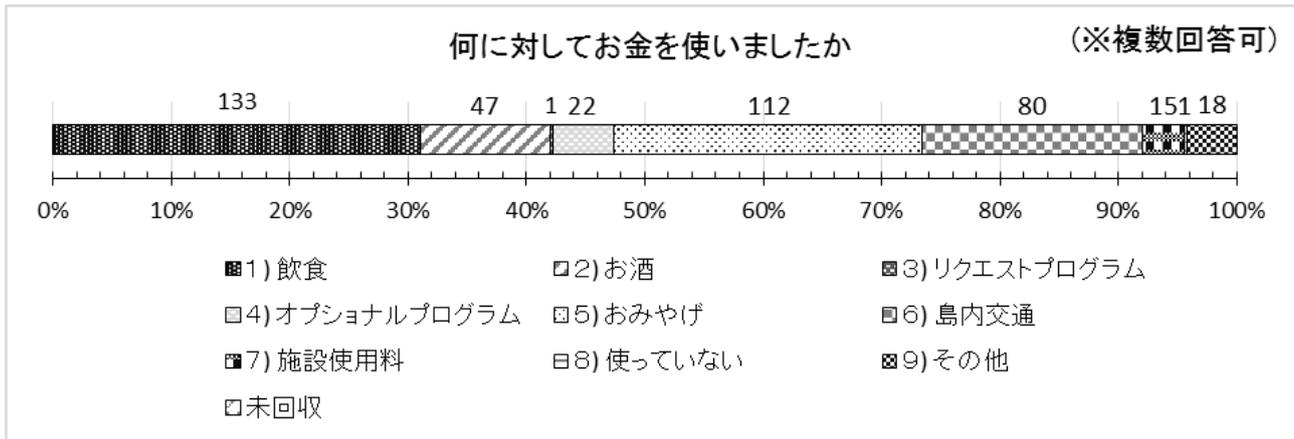
モニターアンケート結果：





## 第5項 島に関するアンケート結果





## 第6項 島の声

- ・大人を受け入れる事で、今までとは違う着眼点を持つ事ができ、とても勉強になった。
- ・子ども達とは違い、意見をダイレクトに伝えてくれるので、それをどんどん改善していきたい。
- ・伊原間地区は小さな商店が1つしかないので、受け入れの時期は、商店の商品が売り切れたりするなど小さな経済効果が生まれていてとても嬉しい。商店のおばちゃんが、「事前に商品を仕入れたいから、次の受け入れはいつか」と聞いてきたりするようになっている。
- ・これまで観光に携わっていなかった方から「私もやってみたい」という声が上がると、嬉しい波及効果が出てきている。
- ・地域が団結して主体的に取り組んでいるので、今後も地域が主役の観光を推進していきたい。

## 第7項 参加者の声

- ・民泊させていただき、家の方がとっても良い方で私たちとよい距離を保っていただき、とっても楽しかった。私たちは子ども2名いたので、なにかとご迷惑をかけるのではないかと心配しておりましたが、同家に同じ年頃の子を組み合わせさせていただきその気遣いがとっても嬉しかったです。
- ・サバニだけでなく洞窟体験などの見学もできたのがとても良かった。
- ・島の人の大歓迎を受けて感激した。夕食交流会があったお陰で参加したほかのメンバーとの交流もでき、思い出深い旅になった。
- ・コーディネーターさんの簡単なプロフィールがかかれたプリントとか配布してもらえると名前もスムーズに覚えられて良いと思った。

## 第8項 成果

伊原間地区は、これまで修学旅行の受入れを中心に行っていた。今回の島あっちいを通して、これまで以上に地域の方々が観光客を迎え入れる事に積極的になり、自発的な受入れ前の会議が増えた事によって地域の親密度が上がっている。サバニ体験も数をこなすことで商品として成り立つようになった。フリータイムには、コーディネーターが中心となり、既存オプションプログラムを短時間バージョンにアレンジしたものを用意し、お客さんがフリータイム内に沢山のオプションプログラムを楽しめるよう工夫を凝らしており、結果的に地域の方の収入UPにも繋がっている。また、各々が村史等で、今一度自身の暮らす集落を見つめ直し、より自信を持って集落の事を発信できるようになっているようである。

車椅子の方の受入れも地域で団結して行ったことで、今後の受入れ対象者の発展性も広がった。

## 第9項 課題

伊原間地区は島ではない事もあり、フリータイムにレンタカーで地域外に出ていく参加者がいる。しかしそれは止めようがないので「いかにして地域に引き止めるか」というところに力を注ぐことが必要である。

今年度の受入れを通して、伊原間地区は更衣室・手洗い等の施設が不十分であることがわかった。予め、前段の施設で着替え・手洗いを済ませる等して対応を行ったが、今後はコーディネーターと連携し、公民館の活用等、他の対策も検討していきたい。また、復路便の手続き等に関してコーディネーターとロジスタッフとの引き継ぎなど、細部の調整が必要であることがわかった。次年度は予め調整を行っておく必要がある。